

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

夢みらい 赤井 康彦

(2) 実施日：令和2年1月31日

【1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

本市においては文化振興条例や文化振興計画すら策定されていない現状である

(2) 本市における課題

全国どこにでもあるような文化振興計画では彦根らしさが出てこない

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目 堺茶の湯まちづくり条例

市民憲章にもある通り歴史と伝統を生かし、文化の香り高いまちをつくりますと書かれている彦根市において、井伊直弼公が偉大なる政治家であると共に偉大なる文化人であったことを認識しなければならない。特に一期一会という言葉を世に広めたのは直弼公であるとも言われる元になった直弼公の茶道は今も市内で守り続けられている。直弼公のお茶の文化を守るためにも茶の湯における条例が制定されている大阪府堺市の先進事例を学ぶため。

(2) 選定地1：大阪府堺市

【3. 調査結果】

(1) 内容

1月31日

大阪府堺市 堺市役所 観光部観光推進課

堺茶の湯まちづくり条例について

条例制定までの経緯 前市長の公約であり、パブコメ 150 件

茶道に関する団体数 数が多いため把握しきれていない

制定後の変化 茶道関係者の協力のみならずホテル協会、ロータリークラブなどが積極的にかかわっていただけようになった

市庁舎でのもてなし 年4回100人程度 過去30年間3千家が順番で点てている

他のまちづくり条例 文化振興条例や自転車まちづくり条例などがある

観光客対策 堺まつりで大茶会を開催 インバウンド施策はこれから

学校での対応 堺スタンダードとして全学校で茶道体験を実施

(2) 考察

井伊直弼公は偉大なる政治家であり偉大なる文化人であり彦根市民の誇りでもある。彦根市には未だ文化振興条例や振興計画がない状況の中で全国どこにでもあるような文化振興計画を作っても意味がないものと思われ、彦根らしさを出すためには直弼公を崇める上での文化振興計画を作成するべきであると思い先進地視察を行った。直弼公は一期一会という言葉が世に広めたとされるほど茶の湯文化に精通されておりこの文化を含めた文化振興条例制定に向けてのヒントをいただいた。

大阪府堺市は、言わずと知れた千利休の出生地といわれ学校や企業にも茶室や茶道具があるところが多く茶の湯に親しんでおられる文化があった。小学校では堺スタンダードとして平成 18 年から茶の湯体験を全小学校で実施されており、市主催の立礼での茶会も頻繁に開催されている土壌があった。既に制定されていた文化振興条例の中にも茶道は含まれていたが前市長の選挙での公約として茶の湯条例制定が大きく動いたとの事であった。